

## CBAP®認定 合格体験記

北嶋 淳一

私は、外資系保険会社において、ビジネスアナリシス・センター・オブ・エクセレンスという職務に従事しております。この職務は、ビジネスアナリシスの成果を向上させるために設けられたもので、ビジネスアナリストに対してトレーニングの実施やメソドロジーの導入など、様々な施策を計画/実行しています。

Certified Business Analysis Professional™(CBAP®)の取得を意識することになったきっかけは、親交のあるアメリカのビジネスアナリストチームにおいて CBAP®合格者が複数人おり、自分も受験してみたいと思ったことでした。そして 2012 年 12 月に CBAP®を受験し、合格することができました。

CBAP®試験に関して入手できる情報が少ない中で、諸先輩の合格体験記から得られる知見、情報には本当に助けられました。今後受験される方々に少しでも参考にしていただければ嬉しいと思い、合格体験記を寄稿させていただくこととなりました。

### 出願-試験日程の決定まで

最初に、International Institute of Business Analysis™ (IIBA®)に出願を行い、受験資格を得る必要があります。出願手続きは、IIBA®の web サイトに出願に必要な要件を証明する情報を入力して行います。

私は当初、この出願作業を日常の隙間時間を見つけて少しずつ進めようとしていました。しかし、作業はなかなか捗りませんでした。それは、例えば過去のビジネスアナリシスの経歴など、調べなければ入力できない項目が多く、隙間時間では調査が終わらずに何度も中断してしまうからでした。そこで、諸先輩方が合格体験記で紹介されている方法に従うことにしました。入力が求められる項目と出願要件を EXCEL の表に整理し、出願要件を満たすことを確認しながら入力項目を調査し、その EXCEL 表に記録していく方法です。この方法に切り替えたところ、作業がとても捗り、出願に必要な情報を準備することができました。次に、ここでまとめた情報を IIBA®の出願画面に入力する必要がありますが、これは問題なく終了いたしました。

出願して 10 日後に、IIBA®から出願が受理されたことを伝える e-mail が届きました。受験料を郵便局から国際為替で送金すると、受験地と受験日の希望の登録を求める e-mail が届きましたので、受験地と受験日を決定いたしました。

### 受験勉強

受験勉強は次の3つのステップで行いました。

- ①CBAP®対策本の例題/模擬試験を解き、危機感を高める
- ②Business Analysis Body of Knowledge®ガイド (BABOK® ガイド)を何度か通読し、記述内容を理解する

③再び、例題/模擬試験を解き、不正解箇所を *BABOK®ガイド* で復習する

①については、amazon.com で対策本を探し、2冊購入しました(Warnermark社および Willey 社 (SYBEX) の Study Guide)。この2冊に掲載されている模擬試験を解いて採点し、予定通り強烈な危機感を醸成することができました。答えの見当が全くつかないような問題がいくつもありました。事前に *BABOK®ガイド* を何度か読んでいたのですが、模擬試験に解答できるほど定着していないことがわかりました。この結果を受け、次のステップの②を開始しました。

②は、通勤の時間を利用して電車内で行いました。CBAP®は英語で受験すると決めていたので、*BABOK®ガイド* は英語版を利用しました。通読を試みましたが、少なくない箇所において記述されていることが頭に入らず、なかなか先に読み進むことができませんでした。反対に、スムーズに読めるのですが、どうも頭に入らない箇所もありました。*BABOK®ガイド* の章建てに慣れてくるにつれ、通読するスピードは速くなりました。それは決して記述してあることを記憶したという状態ではありませんでした。③に移ることにしました。試験日から約1カ月前でした。

③については、①の2冊に掲載されている例題、模擬試験を利用しました。実際にまとまった時間を作って勉強ができたのは、試験日の直前2週間前くらいからでした。

例題/模擬試験は、即答できなければ不正解とし、不正解であればその問題文/解答/解説に含まれる用語と説明を抜き出して、*BABOK®ガイド* の本文と Glossary を用いて確認しました。①のCBAP®対策本の本文も同時に目を通したかったのですが、読む時間が確保できず、ほとんど読めませんでした。このころになると、*BABOK®ガイド* を精読できていることを実感できるようになってきました。理解が進むにつれ、自分自身の業務経験と *BABOK®ガイド* の記述内容を容易にリンクできるようになり、さらに記憶の定着が進んだと思います。

## 試験会場

試験会場は、東京メトロ南北線の白金高輪駅から徒歩7分程度のテンプル大学麻布校舎でした。なお、私の勤務先の最寄駅も白金高輪駅であり、テンプル大学麻布校舎の場所を知っていたため、心理的に余裕がありました。私が受験した日は日曜日で、大学の正面入口は閉鎖されていました。正面入口に掲示されていた案内に従って裏口から入り、特に迷うことなく試験官の方を見つけることができました。

CBAP®受験であることを告げて、本人確認等を行った後、試験官の方に連れられて教室に入室し、ノートパソコンと紙と鉛筆と耳栓が置いてある机に着席しました。その教室で受験したのは私のみで、とても静かな環境でした。

## 試験開始から合否の通知まで

試験は、パソコンに表示される問題を読み、四つの選択肢から一つ解答を選んで、パソコンに入力します。試験問題は150問、試験時間は3時間30分です。解答の時間配分について、1時間毎に50問解答し、3時間で150問解答終了させ30分余裕を持つという単純な目標を立て、解答を開始しました。実際には、このペースを少し上回り、150問解答時点では40分ほど余っていました。解答終了時点で

試験を終了させて合否を確認できるのですが、そこで早々と試験結果と向き合う勇気はなく、結局ほぼ制限時間一杯まで解答の見直しをしました。

そして試験を終了させると、数秒後に合格である旨の文が表示されました。試験官の方にお礼を言って退室し、帰宅いたしました。

### **試験問題を振り返って**

試験問題の英文は平易で、問題の意図の汲み取りに困難はありませんでした。上述の 2 冊に収録されている例題の英文は、実際の試験問題の英文と比較すると、複雑で長いと思います。また、ほとんど全ての問題は、*BABOK®* ガイドの記述を題材にして作られていることがよく分かるものでした。

以上、ご参考にしていただければ幸いです。